**▶メッセージアプリによるコミュニケーション**

年　　　月　　日

**年生保護者の方へ**

（学校名を入れる）

　メッセージアプリを利用したコミュニケーションでは、子ども達は、既読表示や返信が気になり、何度もスマートフォンを確認することがあります。その結果、長時間利用につながることもあります。相手の表情や声色がわからないため、自分とは考えが異なることにも気づきにくくなります。

　学校では、「メッセージアプリによるコミュニケーション」という授業を行いました。メッセージアプリを利用して、コミュニケーションをとるときに気をつけるべきことを、ご家庭でも話し合っていただきますようお願いいたします。

**１．人それぞれ考え方は異なります。**

　メッセージが来たらすぐに返信をする人、しない人、既読が気になる人、気にならない人、人それぞれ、受け止め方は異なります。それは当たり前のことなのですが、メッセージアプリを利用したコミュニケーションでは、意識ができなくなることがあります。人には人の価値観があり、自分と同じとは限らないのです。だから、返信や既読は気にしすぎてはいけない、または相手は返信を待っているのかも知れないことを話し合ってください。

**２．グループ外しはいじめにつながります。**

　子ども達は、メッセージアプリの中で、特定の友人だけで構成したグループを複数作ることがあります。誰かを外してグループを作っても、「本人が気づいていなければいじめではない」「悪口も当人に伝わらなければ良い」と考えることがあります。しかし、外された当人はどう受け止めるでしょうか。グループ外しをどう思うか、噂や悪口を気にするかどうかも人によって異なります。自分の思い込みだけで決めつけるのではなく、「相手はどう思うか」と常に意識するようにしましょう。グループ外しはいじめにつながります。いじめの傍観者になることもいじめに加担していることを忘れないようにしましょう。